



南会津高校進路だより

羅針盤 (1月増刊号)

第97号

2019年1月24日

進路指導部・発行

# センター試験 無事終了! 受験の天王山は2月にあり! 取薪奮闘

1月19(土)20日(日)に行われた大学入試センター試験。本校受験生は、前日から20名全員で会津若松に宿泊し大きなトラブルもなく無事2日間の試験を終了した。あとは結果が合格へと結びつくことを祈るのみ。ここまできたらセンターの結果は忘れ、私大受験に気持ちを切り替えて過去問チェック等しつつこく受験勉強を継続しよう。

学力はまだまだ伸びる! ぜひとも、受験生全員が第一希望の合格を果たしてほしい。保護者の皆様には会津大学への送迎等、大変お世話になりました。



## センター試験速報! データチェック!

センター試験の結果と南会津高校生の課題

### ①今年もまた、残念ながら、基礎学力(英数等)は不十分!

主要3教科では、本校受験者全員の平均点は、全国平均点に遠く及ばない。<英語筆記の全国平均点123点→本校平均点65.7点、英語リスニング全国31点→本校21.8点、国語全国122点→本校95.2点、数学I全国60点→本校36.4点、数学II全国53点→本校26.3点>ただし、進路指導部としては、実は全国と本校の平均点の比較を大きく問題視・重要視はもはやしていない。最も重要視しているのは、センター試験を利用した一般入試の受験者ひとり一人がどれだけ点数が取れ合格につながられるか、かつ一人でも多くの本校受験者がそれまでで最高の結果を本番で残せたか、という個人ひとり一人の問題としてセンター試験をとらえている(とらえざるを得ないともいえる)。そこでチェックしたいのが、本年度の全国平均を上回った本校生徒の数だ。裏面に詳細は記載してあるが、英語筆記でゼロ、リスニングで1名、国語で3名、数学Iでゼロ、数学IIで1名、という実にさびしい結果である。特に肝心要の教科・英語では、ほとんどの生徒が5割を超えておらず、せつかく国語・日本史でまずまずの点数を取っても、配点の高い英語で合格を逃すという結果となっている。

### ②推薦入試合格者の低得点顕著! 学習意欲と自覚のなさがっかり!

推薦入試合格者の結果を見ると、例年以上に得点が低い。これは、推薦合格者の甘えからくる受験勉強からの逃避、センター受験者としての意識の低さ・自覚の欠如から生じた結果である。こうした消極的態度にはがっかりであり、一般入試受験者に対しても極めて失礼だ。せつかくの合格が霞んでしまう。

### ③「本物の受験生」に変身した女子生徒数名、国語・日本史で大健闘！

やや遅きに失した感は否めないものの、11月下旬以降「受験生の顔」となって本気の受験勉強に取り組んだ女子生徒が数名いた。案の定、努力が実を結び国語・日本史等で成果を示した。必死で覚えれば点数アップにつながることを実感できた経験は後で必ず生きる。私大入試の天王山はこれからやって来る。最後の受験まで今の熱意・必死さを忘れず、第一志望に強気で挑戦していこう。

### ④全国平均点を上回った各教科・科目の頑張り屋は誰だ！？

＜④各教科・科目の全国平均点は、1月22日時点のデータネット予想平均点＞

全国平均点は一つの指標となる。これが突破できればまずまず合格点であり高く評価したい。だが、英数を中心に人数が少ないのが本校の厳しい現実だ。

